

新製品！シュワシュワバスボムをつくろう～自分の力で作業を進めるために～

小出特別支援学校 中学部 職業基礎クラフトグループ 諏訪奏 内藤厚人 小林美穂

作業での生徒の困り感

目指す姿

文字が
読めない

作業の見通し
が持てない

話や指示の意味
が分からない

やり方が
分からない

興味が
ない

作業内容や手順を理解し、
ひとりで作業に取り組む
時間を伸ばす。

課題解決のための 具体的な工夫

1. 取り組みやすくするために

● 興味の持てる材料 & 製品使用の体験

● 環境づくり



バスボムの発泡

題材で五感を刺激



パーティション

固定された場所で、
壁面に向かって行う

作業は左から右に

テーブルクロスに
道具置き場の目印

2. 一人でできるために ● 作業の分担 & 支援ツール

① はかる

② まぜる

③ かためる



適量を計ること
ができるために



手作りカップ
すり切り容器



適量を混ぜ合わせる
ことができるように



色水容器（一回分）



オイルを入れる目印



同じサイズ、同じ
かたさにするために



押し棒



ケースの利用

成果と課題

- ★ 興味の持てる題材を用いたことで、主体的に作業に取り組む姿が見られた。
- ★ 一人でできる活動を設定したことで作業スピードが上がり、生産個数が増加した。
- ★ 活動の見通しが持てたことで離席や休憩が減り、落ち着いて作業に取り組むことができるようになった。
- ▲ 製品の仕上がりレベルの向上（誰がどの状態で作っても同じ精度で仕上がる工夫）。
- ▲ 材料の危険性への配慮（重曹やクエン酸の誤飲を防ぐ）。

